

建築計画 (Architectural Planning)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
土木建築	選択	5年	2	講義	目山直樹

【授業の概要】

4年次の建築環境工学に引き続いて、計画学に共通する建築計画総論、および各種建築物の計画各論について学ぶ。

【授業の進め方】

講義を主体に授業する。教科書の内容にしたがって講義を進める。また折りに触れ小課題、レポート、プランニング課題等を課す。とくに、各自に前期後期にあわせて2回のプレゼン課題を課し、知識の習得と活用をめざす。

【授業の概要】	【授業項目】	【内容】
1回	環境と建築（野外観察）	身のまわりの自然、建築環境を観察する。これに基づいてレポート課題を与える。また、建築および建築家に関するレポートを作成し、2回～6回の授業でプレゼンさせる。
2回	建築計画総論 1	建築とは何か
3回	建築計画総論 2	建築の空間
4回	建築計画総論 3	建築を規定するもの
5回	建築計画総論 4	設計の原理
6回	建築計画総論 5	建築の形態と色彩
7回	建築計画総論 6	各種建築に共通なことから
8回	中間試験	学習シートの内容を中心に、知識を確認する。建築計画総論6までを試験範囲とする。
9回	前期中間試験の解答、解説 建築計画の概要 1	前期中間試験答案の返却、解答および解説 建築計画の意義、計画の進め方、空間と造形
10回	建築計画の概要 2	構造計画 設備計画 防災計画
11回	建築計画の概要 3	室内環境計画 設計図書の作成
12回	住宅 1	住宅の概要 計画の進め方
13回	住宅 2	独立住宅の計画 二世帯住宅の計画
14回	建築計画演習 1	9回～13回の演習問題、住宅演習課題
	期末試験	学習シートの内容を中心に、知識を確認する。
15回	解答返却など	前期末試験答案の返却、回答および解説
16回	集合住宅 1	後期は、クラスを5班に分け、班ごとに各論のテーマに沿ったプレゼン課題を課す。課題のプレゼン（1班）集合住宅の概要 計画の進め方
17回	集合住宅 2	集合住宅の平面計画 各部の計画
18回	事務所 1	課題のプレゼン（2班）事務所概要 計画の進め方
19回	事務所 2	事務所の平面計画 各部の計画
20回	学校 1	課題のプレゼン（3班）学校の概要 計画の進め方
21回	学校 2	学校各部の計画
22回	建築計画演習 2	16回～21回の演習問題
23回	中間試験	学習シートの内容を中心に、知識を確認する。

24回	後期中間試験の解答、解説 図書館1	後期中間試験答案の返却、回答および解説 課題のプレゼン(4班) 図書館の概要 計画の進め方				
25回	図書館2	図書館各部の計画				
26回	劇場1	課題のプレゼン(5班) 劇場の概要 計画の進め方				
27回	劇場2	劇場各部の計画				
28回	建築物の外部空間	外部空間計画の概要 事例にもとづく解説				
29回	建築計画演習3	24回～28回の演習問題				
	期末試験	学習シートの内容を中心に、知識を確認する。				
30回	解答返却など	後期末試験答案の返却、解答および解説				
【到達目標】	前半では、建築空間や建築計画に関する基礎的概念、用語をが理解できることを目標とする。後半の建築計画各論では各種建築物に関する基礎知識を修得し、計画手法を身につけることを目標とする。					
【徳山高専学習・教育目標】	C1	【JABEE基準1(I)】 d-2a				
【評価法】	評価 = (定期試験4回の点の合計 / 4 × 0.8) + 2.0 (課題の評価点) 受講態度などの平常点を加味する。なお、中間段階の評価は試験結果を優先する。					
【テキスト】	初めての建築計画 <建築のテキスト> 編集委員会 学芸出版社 参考図書 斎藤平蔵・宮川英二共編 大学課程 建築計画 オーム社 新建築学体系 彰国社 より該当分野を適宜参照 住環境の計画 1-5巻 彰国社					
【関連科目】	建築環境工学(本科4年)、建築設備(本科5年)、工学デザイン基礎Ⅰ～Ⅲ(本科1～3年)、工学デザインⅠ～Ⅱ(本科4～5年)、建築設計演習Ⅰ～Ⅳ(本科4～5年)					
【成績欄】	前期中間試験	前期末試験	前期成績	後期中間試験	後期末試験	学年末成績
	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】